



チーム まもる・つながる

令和3年度

今年度の活動テーマ

コロナ禍における「今できるチーム活動」の模索と実施

・リーフレットの効果的な活用方法の検討

活動内容

第1回チーム会議(8/6 書面開催)

8/18に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により書面開催へ変更。

- ・代表者選出(自閉症児者親の会 大久保氏)
- ・「リーフレット配架先の検討」・・・第3段階の配架先の提案

第2回チーム会議(11/5 対面開催)

- ・自己紹介やこれまでの経過の確認
- ・リーフレットの効果的な活用方法の検討
→困っている人が特に立ち寄りそうな場所をピックアップし配布していくことを確認。
また、講演会やフードバンク等の行事の際にも周知活動として設置してみることになる。

県央障害保健福祉圏域権利擁護部会連絡会(11/24)

【昨年度の事例を通じて見えてきたこと(法的支援者とのチームアプローチについて)】

事務局(社会福祉協議会石川氏)出席。

海老名市からは1事例を報告し、登壇の弁護士より法的支援についての助言を受けた。

第3回チーム会議(2/5書面)

1/14実施予定であったが、再び新型コロナウイルス感染が急拡大し書面開催に変更。

活動を通じての気づき・成果・行政や地域に向けた提案・次年度に向けてなど



コロナ禍での活動が2年目を経過したが、対面でのチーム活動が難しく引き続きできることが限られる厳しい1年であった。

第2回チーム会議(対面)では、第3段階の配布先を検討しているが、その中でこれまでの経過から効果の検証を行い、より効果的な配布先を検討する場へ発展。

行政・福祉事業所・当事者団体それぞれの立場や視点から、多角的につながる先を広げる為の意見が出し合うことができた会議となり、配布先の拡大に繋がった。

次年度はリーフレットの具体的な見直しを行っていくことを中心に、権利擁護にまつわる折々の話題を盛り込みながら、引き続き地域課題の発見につとめていくことを提案とした。

